

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	吾妻地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県 佐野市	(栃木県)90000 (佐野市)92045	1	平成22年度 ～平成26年度	平成22年度 ～平成23年度
活性化計画の区域				
吾妻地区(栃木県佐野市) 吾妻地区活性化計画は、栃木県佐野市吾妻地区の受益748haを計画区域とし、当該地区の幹線水路L=715mの整備により、水田の汎用化による生産性の高い農業基盤を確立し、農家所得の向上、維持管理費の節減を図り、農家戸数及び農業従事者数の減少を抑制し、定住化を促進することを目標として策定した。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B / A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	108ha	108ha	100	

(コメント)

定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能確保については目標を100%達成した。
定住化については、平成22年度367戸に対して平成26年度13.4%(49戸)減の318戸に目標を定め、347戸に留めることができた。
当該地区の整備により生産性の高い農業基盤が確立したことで、今後においても地域住民の定住化促進が期待できる。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用排水施設	農業用排水施設 L=715m(既設利用区間含む)		佐野市 土地改良区
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
佐野市 土地改良区	平成22年度	平成23年度	平成24年3月21日
事業の効果			
幹線排水路の整備により、容易に吾妻排水機場へ排水が可能となった。このことで、水田の汎用化が図られ、農業経営の改善・安定化が図られた。			

3 総合評価

(コメント)

本事業により幹線排水路が改修された結果、水田の汎用化が図られ、今後とも安定した農業経営、ひいては農家戸数の減少を抑制し、当該地域の活性化につながるものと思われる。
収益性の高い複合経営を推進でき、高齢農業従事者の持続的な営農や新規就農者の確保育成により、農業就業者数の減少抑制、地区人口の減少抑制が図られた。

4 第三者の意見

(コメント)

当施設を整備することにより、水田の汎用化が図られ、地域の農業生産性の向上のみならず、農家人口の減少抑制にも効果があったと判断でき、県及び市の評価は妥当である。